

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

アンケート実施期間:令和3年3月1日~14日
 アンケート対象:常勤職員2名、非常勤職員2名

事業所名:戸吹の杜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		活動スペースについては問題ない。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		利用が少ないうちは過剰になりすぎることも。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	多動な児童について部屋やプログラムを分けて対応して
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		低年齢向けの設備が乏しい。備品の購入を検討。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		必要な時に都度ミーティングを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1	再開後6ヶ月未満なので該当なし
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		再開後6ヶ月未満なので該当なし
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	第三者評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		研修は随時行っているが研修内容のフィードバックが十分ではない。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		再開後間もないので十分とはいえないが、今後きちんと行っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	東京都モデル様式を活用していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		児童発達支援については、就学前の移行支援と位置づけているため、地域支援はややそぐわない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		活動の振り返りと共有が課題。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		定期的にチーム立案をしている。

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		曜日ごとにプログラム策定。非常に充実
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3		利用人数が多くないので個別中心。今後個別と集団をわけて活用。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		毎朝、パート職員出勤後にそれぞれミーティングを実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		現時点で利用児童も少なく口頭で確認しあっている。→今後連絡ノートを作成。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		今後記録様式を変更予定。記録のとり方についても研修を実施したい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2	再開後6ヶ月未満なので該当なし
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		2	まだ会議が開かれていない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2		相談支援事業所とは適宜連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2	対象児がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		2	対象児がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	今後利用児童が増えてきた段階での課題。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		2	今後利用児童が増えてきた段階での課題。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	今後利用児童が増えてきた段階での課題。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	児童発達支援については、就学前の移行支援と位置づけているため、実態的に十分ではない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	コロナ禍のため実施されていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		移行にあたってあらたにアセスメント実施予定。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		3	今後必要なケースもあるが現時点では対象者がいない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		契約時に説明。※報酬改定時にも。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3		契約前に個別支援計画を策定、契約後も随時見直しを行い、その都度同意を得た上での支援を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	就労している保護者にはなかなか時間が取れない。今後ZOOMなどを利用した面談をしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	保護者が望んでいない場合もある。他の活動の情報提供にとどめたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		いまのところ相談等ないが、体制は整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		ブログにて情報発信を随時している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		あらかじめ個人情報に関するアンケートをとり、それに則って実施している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		障害への理解が十分とはいえませんが、現状ではうまくいっている。今後に留意。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	今後イベント等の中で検討する。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	3
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3	早々に救急救命講習を実施したい。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1	服薬している児童はいないが、与薬マニュアルは整備している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	対象児がいない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	現状ではヒヤリハットや事故はまだない。今後想定しうる事案を作成途中。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2		社内研修にて行った。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	1	対象児童はいないが、今後のために規定を作成する予定。

ରୁ.